

1月 NO.10

バアバちゃんの子育て考

あんせんニュースから

子どもに合ったお手伝いを任せていきましょう

お手伝いを通して育つこと



吉田緑こども園
理事長 長谷川智子

「もういくつ寝るとお正月」…歌って待った新しい年がやって来ました。(毎年毎年今年は何かいい事がありそう。)(今年こそはこんな事をめざすぞ)と意気込みだけはいいバアバです。

それでもバアバの一番の願いは、吉田緑の子ども達が幸せに暮らせる事です。朝「おはよう」お散歩から帰って「ただいま」と言う声が明るく楽しそうだったら最高に嬉しいです。

親もそうですよね。子どもに何でもしてやること自体が喜びです。子どもの笑顔を見る事が喜びです。

新年に向けて今こども園では新しい時代の保育運動として提唱されている以下の事を年頭においています。

私たちが伝えたい 7つのメッセージ

- 子どもの思いを受け止めましょう
- 子どもの「遊び」を守りましょう
- 子ども自身に乗り越える力を育てましょう
- 子どもの「自分でやりたい」を大切にしましょう
- 子ども同士の関わりが大切です
- みんなで食べると美味しいんです
- 子どもは自然が大好きです

コロナ禍で挑戦できることが少ないですが、保護者の皆さんと一緒に頑張りたいです。今年もよろしくネ。

子育てに疲れたり悩んでいる“あなた”どうぞひだまりの部屋に来てゆっくりして下さい。待っています。



お手伝いを任されると、子どもは他者の信頼を得て認められる喜び、家族や集団の一員として認められる喜びを感じます。自分は他者の役に立っているという思いから、自己肯定感や自己有用感が育ちます。また、任されることや最後まで行うことから、責任感も生まれます。褒められたり認められたりすることで、お手伝いを任される人との信頼関係も深まります。

お手伝いは安全に気をつけて、子どもにあったものを選びましょう

おてつだいを するときの ちゅうい

..........*.....*.....*

かいものは おとなの ひとと いっしょに。



りょうりを している ときは ちかづかない。

いちどに たくさん はこばない。



わって しまった ときは じぶんで かたづけない。

じぶんに できる おてつだいを おうちのなかで さがしてみよう

..........*.....*.....*

おはしを ならべる。

くつを そろえる。

タオルを たたむ。

ごみを あつめる。



子どもは大人のすることに興味を持ち、自分でもやってみたいと思います。子ども自身の「お手伝いをしたい」という気持ちを大切に、最初は子どもにも簡単にできるような家事を保護者と一緒に行う事から始め、少しずつ子どもだけに任せられることを増やしていきましょう。

